



『赤崎水曜日郵便局』出版記念巡回展 「赤崎水曜日郵便局 水曜日の消息」 宮城県塩釜市で開催



発行 KADOKAWA
定価 本体 1,200 円＋税
ISBN 978-4-04-731994-3

編著：楠本智郎 つなぎ美術館 主幹・学芸員
1966年福岡生まれ。鹿児島大学大学院人文科学研究科修士課程修了。2001年から現職。社会教育事業としてのアートプロジェクトを考案し、アーティストと住民が年間を通じて地域資源を活用しながら表現活動に取り組む「住民参画型アートプロジェクト」を2008年から実施している。近年は地域密着型アートプロジェクトの功罪を踏まえたうえで都市部から離れた地域におけるアートの可能性を探っている。「赤崎水曜日郵便局」プロデューサー兼管理人。

概要

「赤崎水曜日郵便局」は、つなぎ美術館が主催する熊本県津奈木町の廃校になった海の上の赤崎小学校を利用した住民参画型アートプロジェクトとして、映画監督の遠山昇司とアーティストの五十嵐靖晃の原案をもとに2013年6月に開局しました。自分の水曜日の物語を送ると知らない誰かの水曜日の物語が届く、ちょっと不思議なプロジェクトとして全国で話題となり、2016年1月には101通の手紙とプロジェクトの概要を掲載した書籍『赤崎水曜日郵便局』（楠本智郎編著／KADOKAWA）が出版されました。2016年3月には2年9か月におよぶ活動に幕を閉じましたが、全国から届いた9,000通を超える水曜日の物語は、つなぎ美術館の收藏品として大切に保管されています。宮城県からは多くの物語が届いており、本展の会場となるビルド・フルーガスにはプロジェクトに賛同される方々が定期的に集まっていました。本展では、つなぎ美術館で2016年2月6日から4月17日まで開催した展覧会「赤崎水曜日郵便局 水曜日の消息」で紹介した手紙200通を展示します。

トークイベントには「赤崎水曜日郵便局」のプロデューサー兼管理人で書籍『赤崎水曜日郵便局』の編著者でもあるつなぎ美術館学芸員の楠本智郎とディレクター兼局長で映画監督でもある遠山昇司が出演予定です。

名称	赤崎水曜日郵便局 水曜日の消息
会期	2016年10月9日（日）～10月16日（日）
会場	ビルド・フルーガス 〒985-0016 宮城県塩釜市港町2-3-11
時間	11:30～17:30
休廊日	10月10日（祝・月）
観覧料	無料
関連プログラム	トークイベント 10月9日（日） 13:00～14:00
主催	つなぎ美術館
協力	ビルド・フルーガス
企画	楠本智郎（つなぎ美術館 主幹・学芸員）
構成	楠本智郎（つなぎ美術館 主幹・学芸員） 遠山昇司（映画監督・プロデューサー）
問い合わせ先	つなぎ美術館 〒869-5603 熊本県葦北郡津奈木町岩城494 TEL：0966-61-2222 ビルド・フルーガス 〒985-0016 宮城県塩釜市港町2-3-11 TEL：080-3198-4818

「赤崎水曜日郵便局」参加アーティスト 遠山昇司 五十嵐靖晃 加藤笑平 玉井夕海

「赤崎水曜日郵便局」公式ホームページ <http://www.akasaki-wed-post.jp>